

第52期 決算説明資料

(2017年4月1日 ~ 2018年3月31日)

【会社名】 株式会社 **エノモト**

【英訳名】 ENOMOTO Co.,Ltd.

【証券コード】 6928 （東証二部）

【URL】 <http://www.enomoto.co.jp/>

【代表者】 代表取締役社長 武内 延公

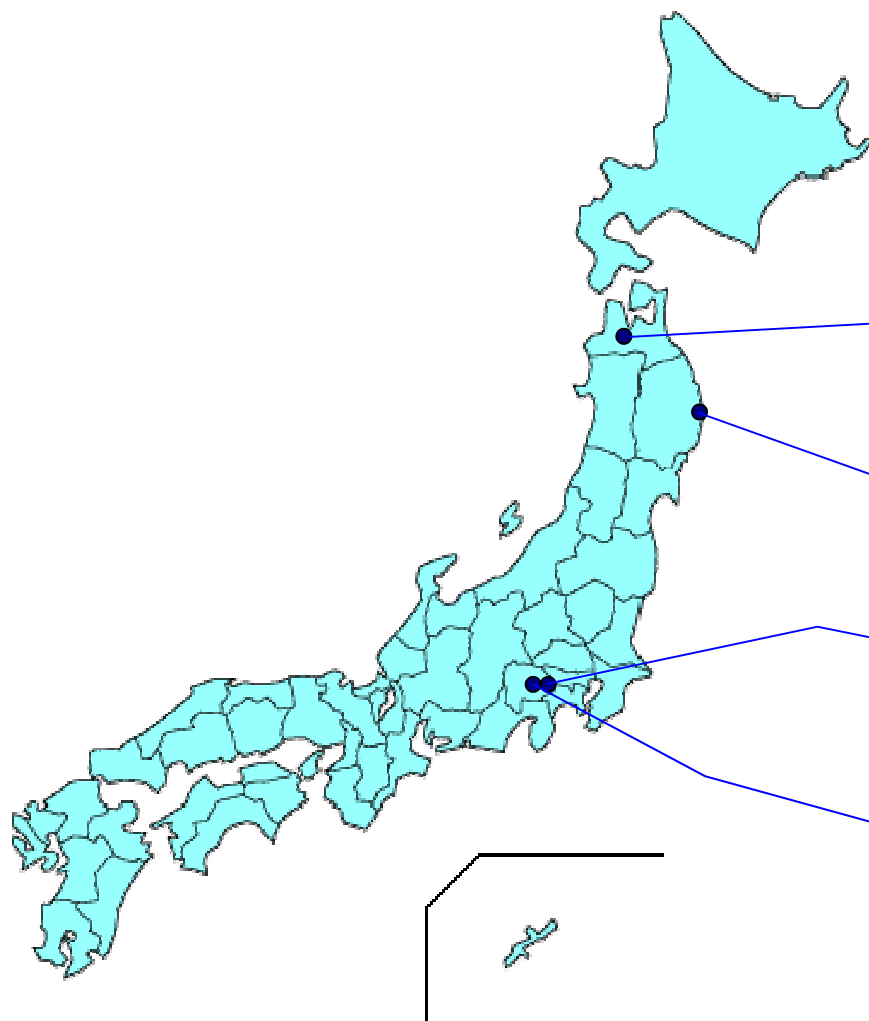
【問合せ先】 経営管理グループ統括執行役員 山下 久幸

【E-Mail】 ir@enomoto.co.jp

【本社所在地】 山梨県上野原市上野原8154－19

【電話番号】 0554(62)5111(代表)





・津軽工場

青森県五所川原市大字漆川字玉椿191-1
TEL.0173-33-0570 FAX.0173-34-5206

・岩手工場

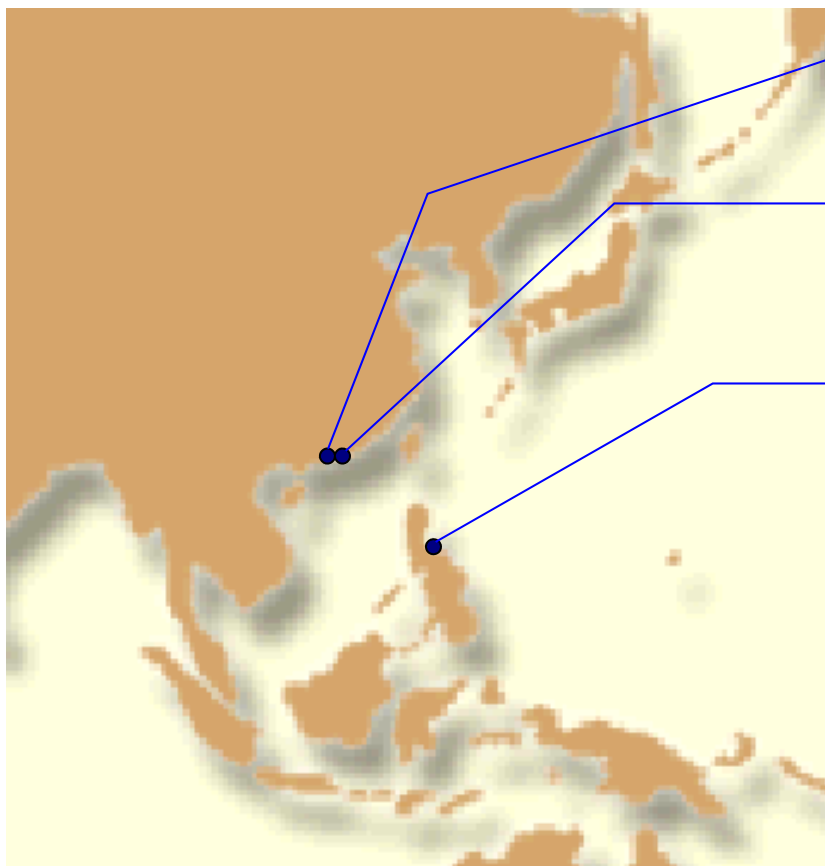
岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39
TEL.0193-42-8511 FAX.0193-42-8513

・本社／本社工場(上野原)

山梨県上野原市上野原8154-19
TEL.0554-62-5111 FAX.0554-63-4193

・本社工場(塩山)

山梨県甲州市塩山熊野666
TEL.0553-32-1111 FAX.0553-32-1159



▪ **ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.**

広東省中山市火炬開発区逸仙工業区

TEL.+86-760-8533-5111 FAX.+86-760-8533-5113

▪ **ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd**

香港九龍梳士巴利道3号星光行1805室

TEL.+852-2199-7848 FAX.+852-2199-7918

▪ **ENOMOTO PHILPPINE MANUFACTURING Inc.**

PEZA-Gateway Business Park Javalera Gen.Cavite Philippine.

TEL.+63-46-433-0263 FAX.+63-46-433-0264

業績説明

車載向け部品 IoT センサー関連部品の
需要増加

+

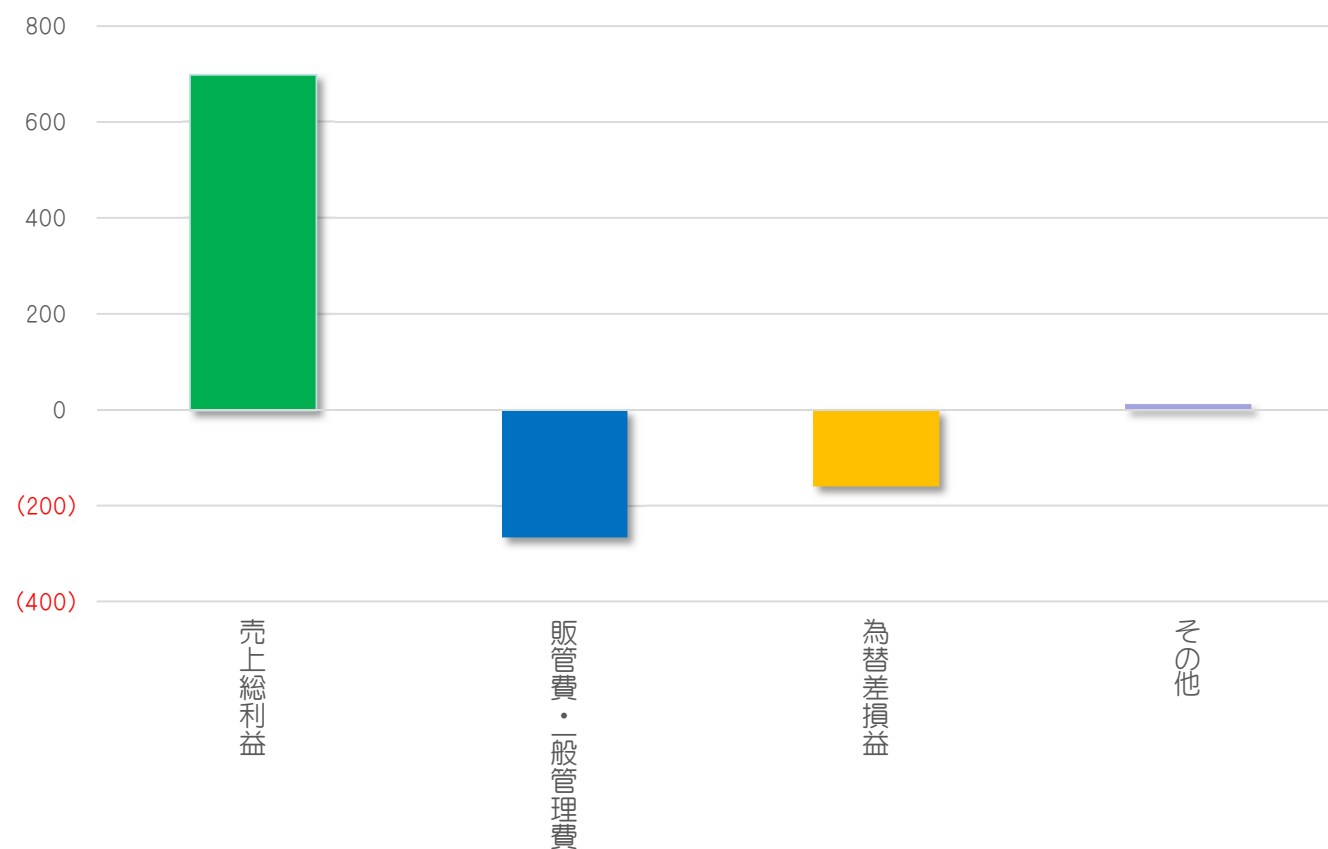
品質の改善、製造工程の自動化・効率化による
製造コスト低減の組織的推進



増収増益

■当期の概況(2)

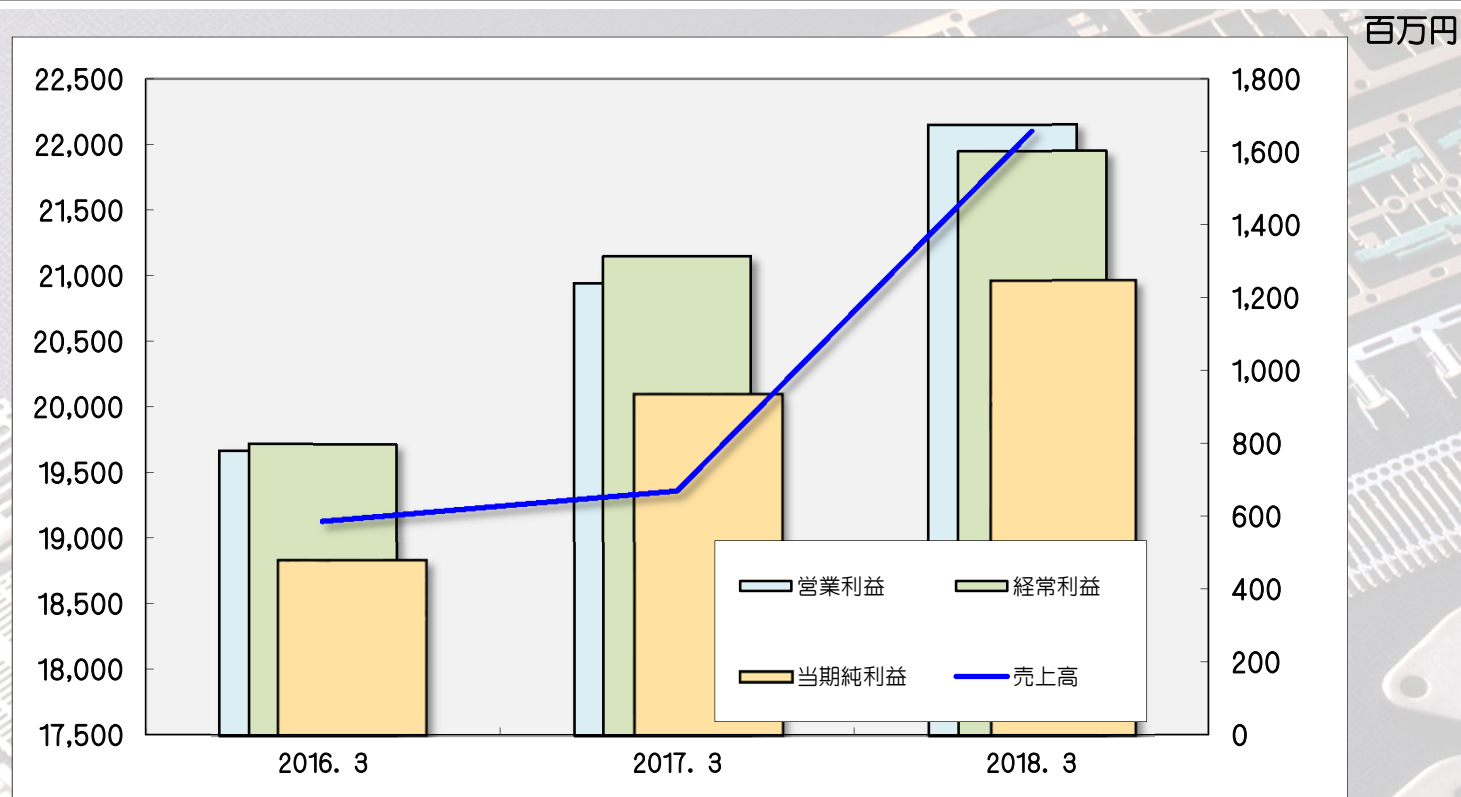
経常利益増減要因



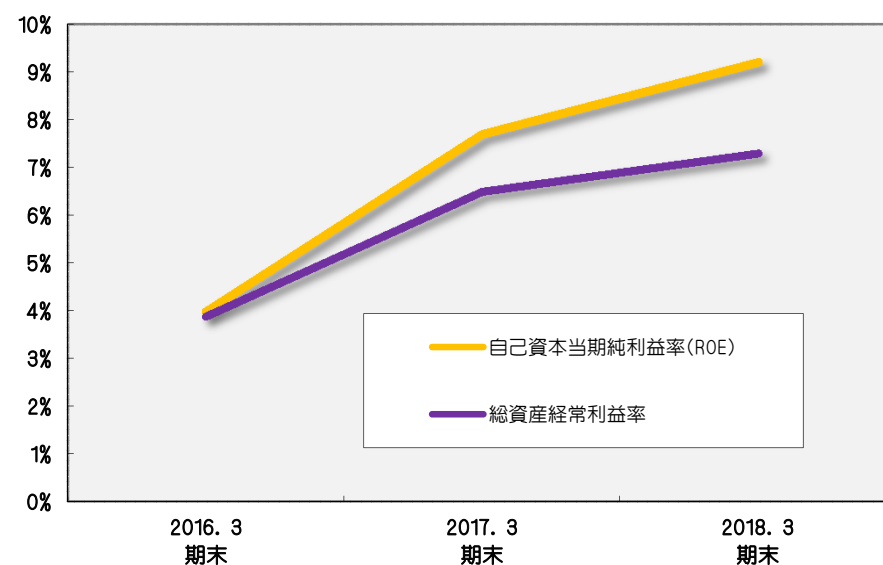
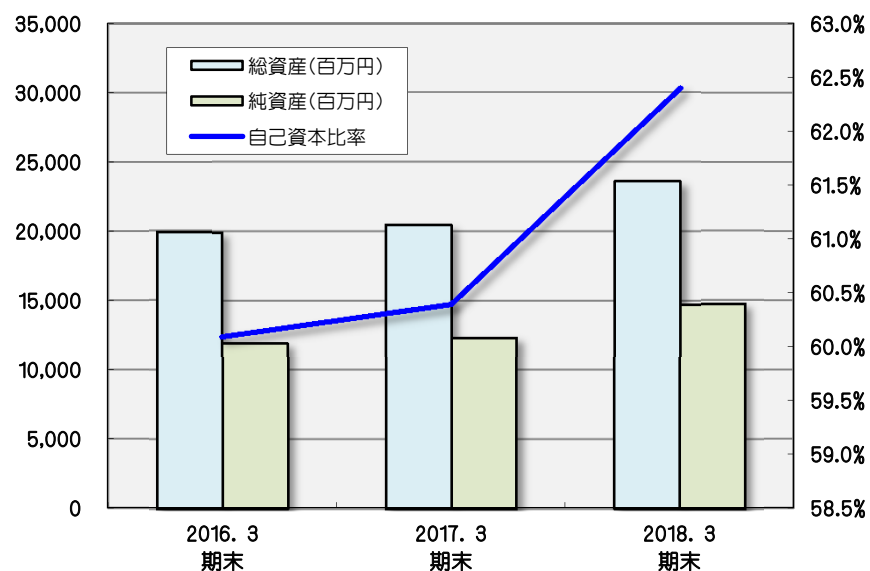
(百万円)

経常利益増減要因	2017.3	2018.3	増減金額	説明
売上総利益	3,221	3,919	699	売上増加による付加価値増
販管費・一般管理費	-1,980	-2,245	-265	出荷増影響、市場変更関連等
為替差損益	57	-103	-159	HKD安元高、期末の円高
その他	16	30	12	
経常利益	1,314	1,601	287	

■連結業績の推移



	2016. 3	2017. 3	2018. 3	前期比
売上高	19,135	19,366	22,103	14.1%増
営業利益	781	1,240	1,674	35%増
営業利益率	4.1%	6.4%	7.6%	1.1P増
経常利益	799	1,314	1,601	21.9%増
経常利益率	4.2%	6.8%	7.2%	0.4P増
当期純利益	480	936	1,246	33%増
当期純利益率	2.5%	4.8%	5.6%	0.8P増



百万円

	2016. 3 期末	2017. 3 期末	2018. 3 期末
総資産(百万円)	19,944	20,491	23,635
純資産(百万円)	11,983	12,377	14,761
自己資本比率	60.1%	60.4%	62.4%
自己資本当期純利益率(ROE)	4.0%	7.7%	9.2%
総資産経常利益率	3.9%	6.5%	7.3%

①IC・トランジスタ用リードフレーム

車載向けを中心に、国内・海外生産がともに好調に推移。

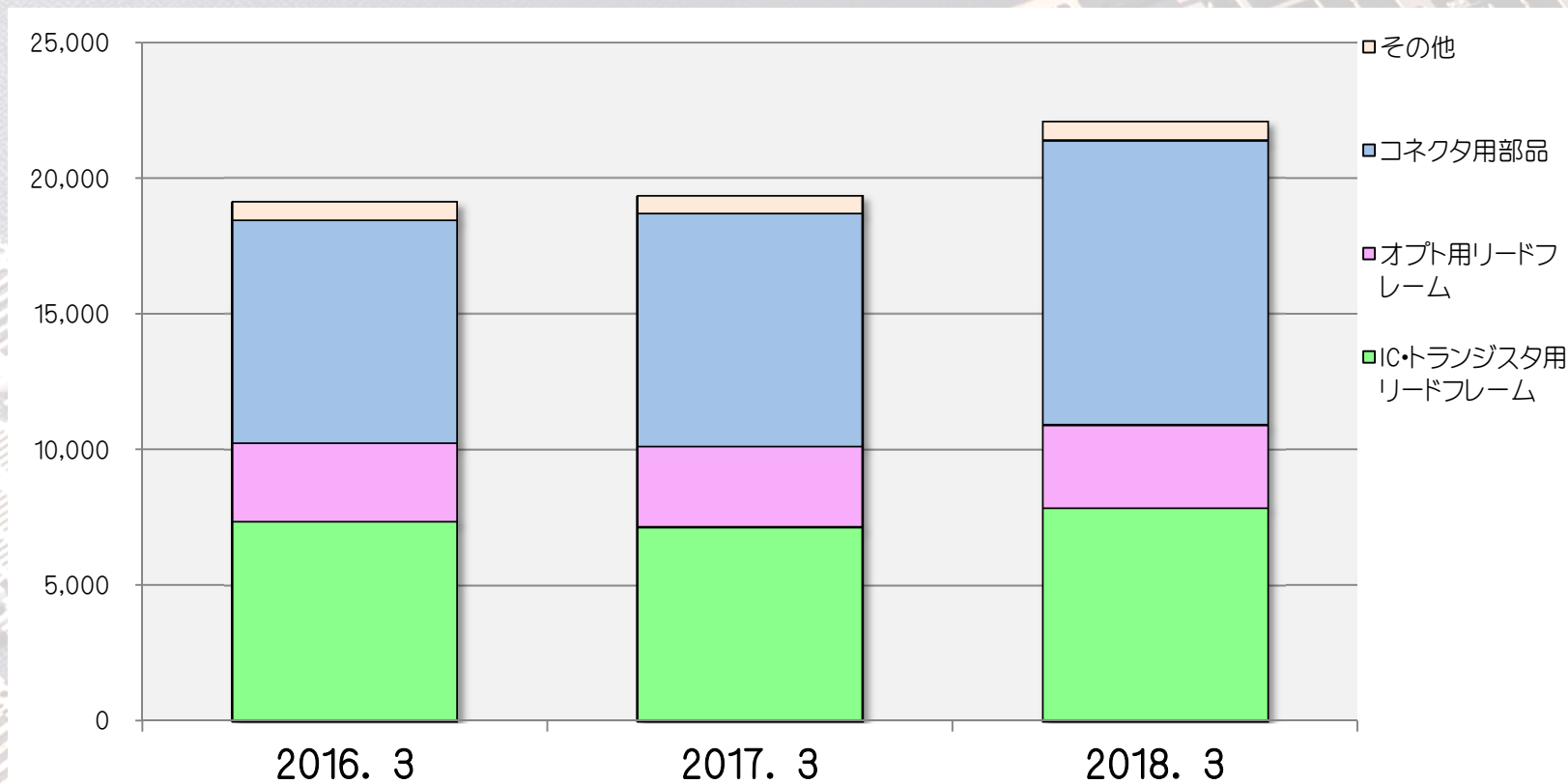
②オプト用リードフレーム

LED部品が主、競技場・競馬場等大型ディスプレイ向けや
アドバタイズメント用途、大型テレビ向け等出荷数量増。
オリンピックに向け底固い需要。

③コネクタ用部品

フィリピンで生産の車載向けは堅調に増加。
スマートフォン向け部品、新規モデル向けの部品について
概ね好調な推移。

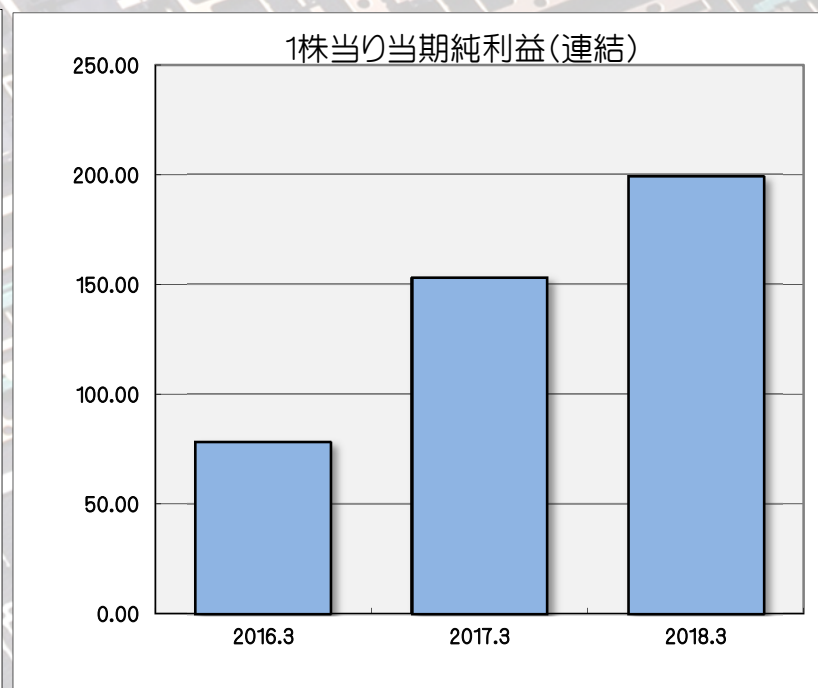
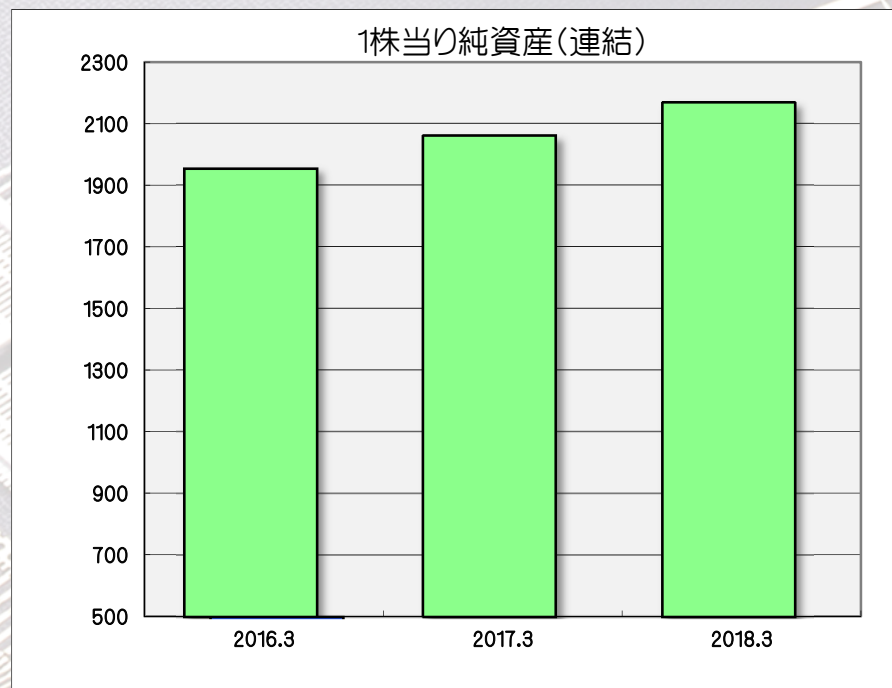
■製品群別業績(売上高)



	2016. 3	2017. 3	2018. 3	前期比
IC・トランジスタ用リードフレーム	7,362	7,164	7,870	9.9%
オプト用リードフレーム	2,887	2,973	3,050	2.6%
コネクタ用部品	8,221	8,565	10,478	22.3%
その他	663	662	703	6.2%
合計	19,133	19,366	22,103	14.1%

■ 1株当り指数

円



	2016.3	2017.3	2018.3	前期比
1株当り純資産(連結)	1,955.24	2,061.64	2,169.16	5.2%
1株当り当期純利益(連結)	78.46	153.34	199.30	30.0%

☆配当予想

前期 普通配当 30円 を継続の予定

	1株当り 期末配当金	内訳
2018年3月期	35円	普通配当 30円 上場記念配当 5円
2019年3月期	30円	普通配当 30円

各品目の動向

① IC・トランジスタ用リードフレーム

☆ 市場概況

- 2015年以降の順調な伸長
⇒ IoT需要(産機、サーバー等)、自動運転に向けた自動車の電装化率上昇
- 出荷数量年平均成長率(富士キメラ総研 推定) 2016年~2022年 = 2.7%

☆ 当社の立ち位置と見通し

- 当社の世界市場シェア 約4.5~5%(富士キメラ総研 推定数値より当社算出)
- 当社の主要マーケット アナログIC、ディスクリート、パワー系半導体リードフレーム
- 中長期的に堅調な推移を期待

② オプト用リードフレーム

☆ 市場概況

- ・2020年のオリンピックに向けた、インフラ及び大型設備投資の増大へ
⇒ 品質重視の製品需要が成長見込み
- ・出荷数量年平均成長率(富士キメラ総研 推定) ⇒ 2015年～2025年 = 9.3%

☆ 当社の立ち位置と見通し

- ・当社の世界市場シェア 約4%(富士キメラ総研 推定数値より当社算出)
- ・タテ型(砲弾型)LED用リードフレームについては国内トップシェア

③ コネクタ用部品

☆ 市場概況

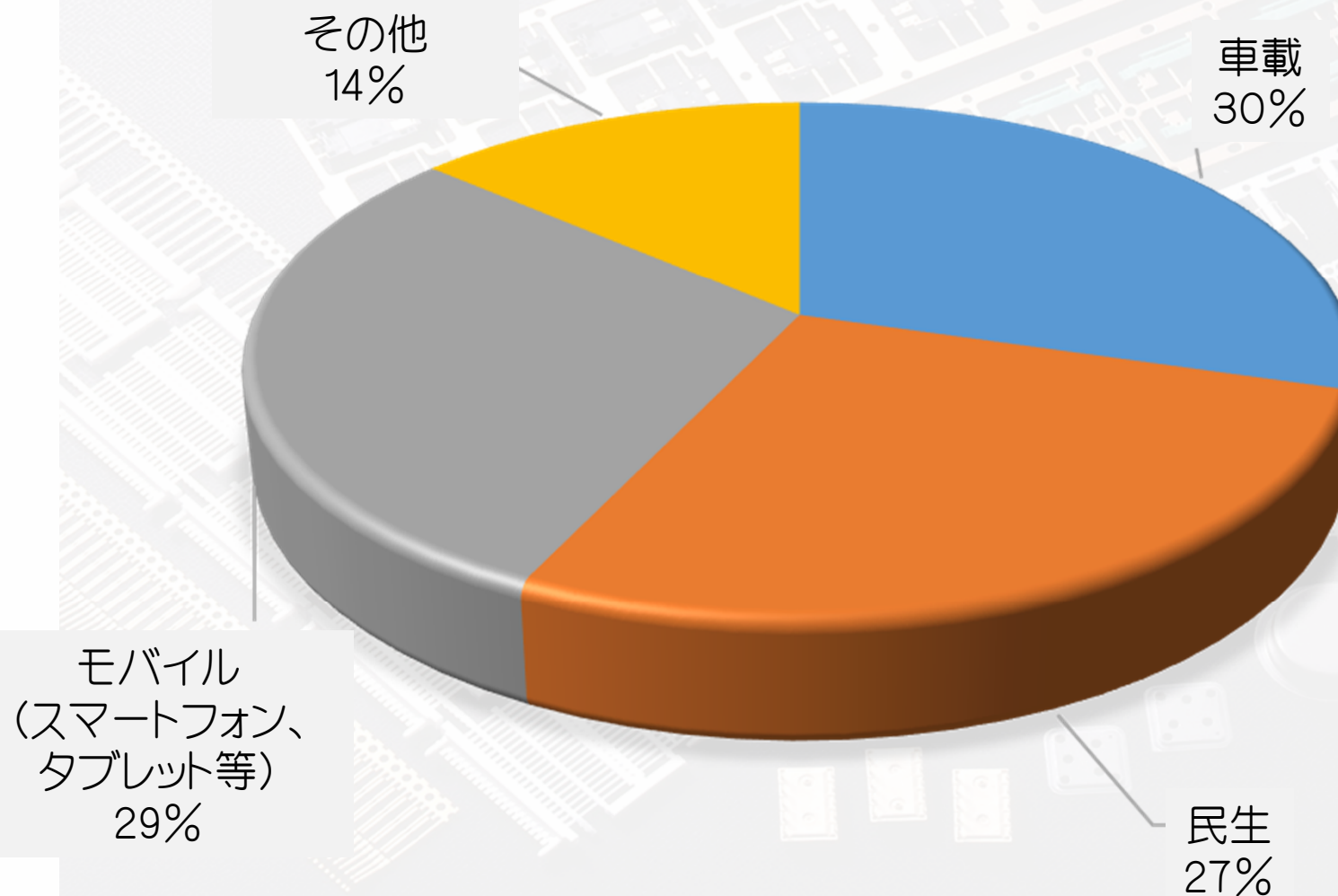
- 車載用大型コネクタ部品の需要は順調に推移
- スマートフォン部品の需要は大きな変動を伴う
- コネクタ世界市場規模は、2016年～2025年まで年率2.8%増で成長予想
(富士キメラ総研 推定)

☆ 当社見通し

- 車載(エアバッグ関連等)向けのコネクタは、順調に成長。更なる拡大を見込む
- 超精密コネクタ部品は技術的要求の高さから、新規参入は困難
⇒ 継続受注見込、かつ更なる受注の拡大を見込む

用途別量産品売上割合

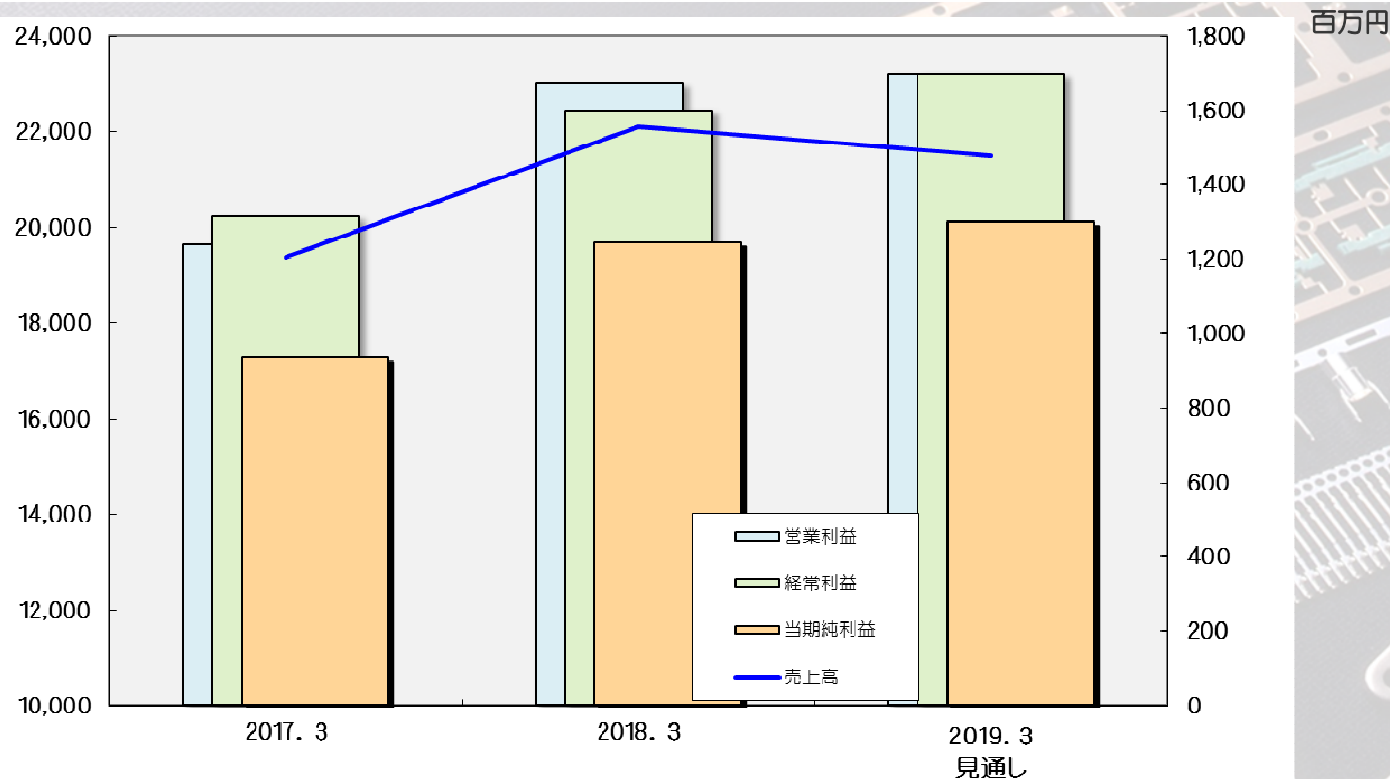
2018年3月期



2019年3月期
の見通し

■通期業績予想

●連 結



	2017. 3	2018. 3	2019. 3 見通し	前期比
売 上 高	19,366	22,103	21,500	2.7%減
営 業 利 益	1,240	1,674	1,700	1.5%増
営 業 利 益 率	6.40%	7.57%	7.91%	-
経 常 利 益	1,314	1,601	1,700	6.1%増
経 常 利 益 率	6.79%	7.24%	7.91%	-
当 期 純 利 益	936	1,246	1,300	4.3%増
当 期 純 利 益 率	4.83%	5.64%	6.05%	-

開発案件
及び
ESG経営への取組み

「ガス拡散層一体型金属セパレータ」の開発

☆2014年7月～

「水素社会に向けた『やまなし燃料電池バレー』の創成」
事業への参画

⇒ 山梨県 山梨大学 との 産・官・学 共同事業

☆2017年7月

「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」
(文部科学省 支援施策認定 取得)

☆2020年以降の事業化

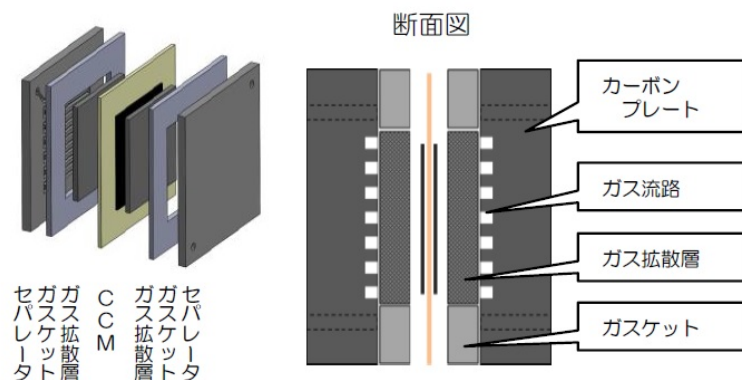
(「やまなし水素・燃料電池バレー戦略工程表」より)

ガス拡散層一体型金属セパレータ

【特徴】

- 導電性樹脂による**耐食コーティング**（貴金属めっき不要）
- 樹脂とカーボンファイバーによる**多孔質ガス拡散層**（カーボンペーパー不要）
- ガス拡散層へガス流路を形成させることが可能（セルの薄膜化/残留応力腐食割れ対策）
- **ガスケット機能付帯**（高機能セパレータ/アセンブリ簡素化）

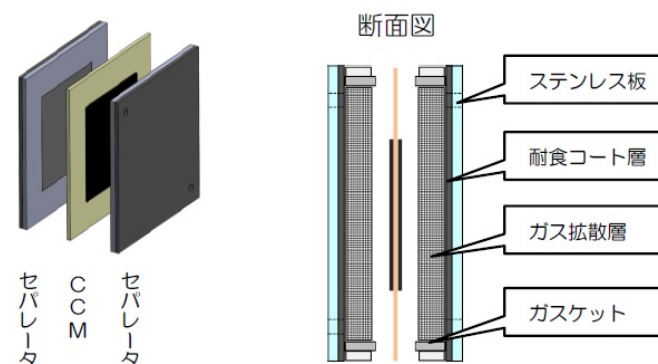
従来（JARIセル構造）



従来構造はカーボンプレートにガス流路の溝加工を行い
ガス拡散層としてカーボンペーパーを必要としている

新セパレータ構造

【国際特許出願中 2014-080995】



新構造はSUS平板の表面に導電性樹脂をコーティングし
ガス拡散層は炭素繊維と樹脂のコンポジット材で製作している

環境への取組み



☆太陽光発電

本社工場 及び フィリピンにて 合計発電量 約1.5MW

☆NOx浄化塗料の使用

岩手工場屋根全面に使用



ひと、くらし、みらいのために

厚生労働省 山梨労働局

山梨労働局発表

平成30年6月1日



山梨初「プラチナくるみん認定企業」誕生!

株式会社エノモトを認定!

☆全国181社目、山梨県では初の認定

ENOMOTO Co.,Ltd.

補足資料

- ・車載部品は堅調に伸長
- ・スマートフォン部品は、2016年7月以降の中国向けと北米メーカー製旧モデル部品の出荷増

量産品分類別売上予算集計

	車載	構成比	モバイル	構成比	民生	構成比	その他	構成比
2017年3月期	5,904	33%	4,475	25%	5,567	31%	2,101	12%
2018年3月期	6,074	30%	5,759	29%	5,544	27%	2,785	14%
増減率	2.9%		28.7%		-0.4%		32.6%	

※ その他には、使用先の限定出来ない汎用部品を含む

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。